

## 水産インフラ輸出構想

## 1 国の動向

本年6月に取りまとめられた「日本再興戦略 2016」において、成長戦略の5本の柱の一つに「海外の成長市場の取り込み」が位置づけられ、具体的な施策として、「インフラシステム輸出の拡大」や「TPPを契機とした中堅・中小企業の海外展開支援」が掲げられ、取組が強化されている。

## 《日本再興戦略2016（抜粋）》

## ◎名目GDP600兆円に向けた成長戦略

## ○海外の成長市場の取り込み（5本柱の一つ）

・インフラシステム輸出の拡大

【約19兆円(2014) ⇒ 約30兆円(2020)】

・TPPを契機にした中堅・中小企業の海外展開支援

【約13.8兆円(2013) ⇒ 約25.2兆円(2020)】 など

## 2 県施策上の位置づけ

本年3月に策定した「やまぐち海外展開方針」において、ASEAN地域を重点地域として、中堅・中小企業の海外展開を支援することが位置づけられている。

## 《やまぐち海外展開方針（抜粋）》

## ◎前文（抄）

少子高齢化や人口減少により、国内・県内市場の縮小が見込まれる中、本県の産業力・観光力の強化を図るためには、新たな市場の開拓が不可欠となっている。

（中略）

本県としても、多彩な強みや地理的優位性を最大限に活かし、アジア地域等をターゲットに海外市場の開拓に挑戦することにより、世界の活力を本県に取り込む。

## ◎地域別の課題 —アセアン地域—

急速に経済成長を続ける同地域には、インフラ整備や安心・安全・高品質な製品、環境技術など様々なビジネスチャンスがあることから、本県企業の持つものづくり技術力等を活かし、中堅・中小企業分野における展開に重点的に取り組む必要がある。

## ◎展開方針 —アセアン地域を中心とした中堅・中小企業の展開—

企業の展開希望に対応するため、関係機関と連携し、各国の最新情報の収集・提供やネットワークの構築、商談機会の提供等に重点的に取り組む。

### 3 ベトナムの現状

キエンザン省、ソクチャン省などベトナム南部の省では、魚の鮮度管理や加工が重要課題となっており、漁獲から流通に至る一連の鮮度管理システムの導入について高いニーズがある。

- 漁船は、鮮度管理機構が十分でない木造船で、水揚げ時の鮮度が低い。
- ベトナム南部は、漁港そのものが小規模な河川漁港で、水深が浅く、大型船が入港できない。
- 市場では、直射日光の下に魚を放置するケースもみられるなど衛生管理、鮮度管理が不十分。目利き機能も不十分で、良いものが選別される仕組みがない。
- 高度な加工技術がなく、また、漁港での水揚げ量が少ないため、加工業の集積・高度化につながらない。
- 製氷技術・冷凍技術が未成熟で、氷そのものに課題が多い上、適正な鮮度・衛生管理に至っているとは言い難い。
- 流通は、保温程度のものが多く、鮮度管理が不十分であるため、水産物や加工品の付加価値の向上が見込めない。

### 4 本県水産関連企業のポテンシャル

本県には、漁獲、加工など、一連の水産関連企業の立地があり、ベトナムのニーズに対応してパッケージでインフラ輸出できるポテンシャルを有する。

- 国際的にも高く評価される歴史ある水産関連産業が集積しており、良い魚をより分けセリにかけるシステムや活魚、鮮魚、加工魚をそれぞれ管理する設備・ノウハウを有する。
- 特に、漁船をFRP化する技術、世界でも実績がある港湾土木技術を有する企業、3Dフリーザー技術で高度の品質保持を可能とする冷凍庫メーカー等の立地がある。
- 食品産業は製造業の中でも約15%を雇用する主要産業のひとつであり、高度な加工技術を有する加工業の集積がある。

食品産業の状況（平成26年）

※ 順位は製造業に占める割合

- 事業所数 407 / 1,838 事業所 … 第1位（構成比 22.1%）
- 従業員数 13,545 / 91,378 人 … 第3位（同 14.8%）
- 製造品出荷額等 219,307 / 651,955 百万円 … 第5位（同 3.4%）

## 5 基本目標

漁獲、加工など一連の水産関連企業の立地がある本県の強みを活かし、漁獲から流通に至る一連の鮮度管理システムの導入に高いニーズがあるベトナム等アセアン地域に対して、パッケージでインフラ輸出を行い、関連企業の業績拡大を通じた県経済の活性化を図る。

## 6 期待される効果

- ベトナム等において、漁船建造から漁港整備、市場整備など一連のニーズが想定され、関連工事等の受注は、県内企業にとって大きなビジネスチャンスとなり、県経済の活性化につながる可能性がある。
- 安全で安価な水産加工品原材料の輸入により、関連事業者の利益向上や業績拡大が期待される。
- 人材交流の活発化を通じて、一次産業等の人材確保につながる可能性がある。

### 《想定される工事受注等》

	ニーズ	想定される主な受注等の内容
漁船	漁船性能向上・船内鮮度管理	・鮮度管理機能を有するFRP船建造の受注 ・装備品・漁具の受注
漁港	河川漁港の改修・高度化	・漁港整備工事の受注
市場	鮮度管理機能を持つ施設整備	・荷捌き施設工事の受注 ・大型冷蔵・冷凍設備の受注
加工	付加価値を高める製品加工技術	・加工場建設の受注 ・加工プラント設備の受注
保管	高度な冷凍・冷蔵技術	・冷凍設備の受注
輸送	鮮度管理機能の高い輸送	・冷凍車、保冷車の受注 ・物流センター建設の受注

※ 想定される受注額は1か所あたり 160億円

※ 上記の受注等にあわせ、施設のオペレーション・保守管理に関わる収入や、技術指導コンサル収入も想定

## 7 取組方針

- インフラ輸出を実現していくためには、実現可能性の精査が課題であり、国の事業実施可能性調査（FS）を導入し、検証を進める。
- 国の事業実施可能性調査（FS）等を実施し、これによりベトナム等のニーズに応えた提案を行い、ODA案件組成を図る。

# ODAを活用した水産インフラ輸出構想

～ 一連の鮮度管理システムの導入に高いニーズがあるベトナム等ASEAN地域に対して、  
県内企業のパッケージでインフラ輸出し、関連企業の業績拡大を通じた県内経済の活性化を図る ～

## 本県の強み

- 一連の水産関連企業が集積
- 特色ある独自技術を有する企業の立地
- 数多くの港湾・漁港の改修・機能強化等の整備実績

## WIN・WINの関係

### ◆山口県◆

- ▽ 関連事業者の利益向上や業績拡大
- ▽ 関連工事の受注によるビジネスチャンスの拡大

### ◆ベトナム等ASEAN地域◆

- ▽ 漁獲から流通に至る一連の鮮度管理システム導入
- ・市場機能の高度化
- ・加工技術の向上
- ・鮮度・衛生管理技術向上
- ・流通機能の向上 等



一連の鮮度  
管理システム

パッケージによる  
インフラ輸出  
(ODAの活用)



## ベトナム等ASEAN地域の現状

- 漁獲から流通に至る一連の鮮度管理システムに対する需要